Rikkyo Club of Executives & Professionals
立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ　発行人：和田成史　編集人：徳澄範光　事務局：TEL.03−3985−3135　http://www.r-keizaijin.net/

第33回定期総会

2013年5月30日(木)午後5時30分より、毎年恒例となる「立教経済人クラブ第33回定期総会」が日比谷松本楼にて開催されました。

総会は第1部の定期総会、第2部の講演会、第3部の懇親会と三部構成で行われました。

第一部の定期総会は総務委員長湯浅修氏(S59産)が司会者となり、総会に先立って、物故者の報告と黙とうを全員で行いました。その後、司会者が開会を宣言し、会則により議長に会長である和田成史氏(S50営)が指名され議事の審議に入りました。

1号議案の事業報告、3号議案の役員一部改選、4号議案の事業計画案は井口事務局長より、2号議案の決算報告、5号議案の予算案は守屋財務委員長より、監査報告を谷田顧問よりそれぞれ報告され、全ての議案について満場一致で承認されました。最後に新役員に選出された田中克哉研修委員長から挨拶を頂き、司会の湯浅総務委員長にマイクが戻され無事総会が閉会しました。

引き続き午後6時より、第2部の講演会が開催されました。今回は当クラブの副会長でもある、株式会社ファルテック代表取締役社長　戸井田和彦氏(S50営)に「グローバル時代のリーダーシップ」と題し、講師が以前所属していた日産自動車時代の改革時におけるリーダーシップについて約50分間お話を頂きました。(講演内容については3頁にご紹介しております)

午後7時から第三部となる懇親会です。懇親会から参加のメンバー新入会員4名を含め会員78名、ゲスト4名、立教大学　糸魚川順理事長、吉岡知哉総長、白石典義統括副総長をはじめ、大学各部長・教授の方々、校友会関係では、小出康之副会長、レディスクラブ天沼律子会長、マスコミ立教会砂田郁郎会長等各立教会の方々、立教新座中学高等学校からのご来賓合計24名を交えて総勢109名が集いました。引き続き、湯浅修総務委員長の司会で開宴となりました。

まず、和田会長より開宴のご挨拶として、総会が無事に終了した報告とお礼、IT業界の中での立教のつながりなどから人と人の絆や、立教が社会へ与える影響の大きさに触れられ、そうした仲間と経済人クラブも成長をしていきたいとご挨拶されました。

続いてご来賓を代表し、吉岡知哉立教大学総長より、変化の時代の中で応用力、共生力、勇気が必要であること、また、グローバル化の中で立教大学としてもグローバル教育センターを立ち上げ語学教育に力を入れている点や、異国の地で尊敬される人間、尊敬できる人間を育てることに力を入れている点、最近完成をした池袋キャンパスの図書館での学生の様子などあげられ、OBの皆様にも立教大学を注目していただきたいとご挨拶を頂きました。

さらに、糸魚川順理事長より、施設面で新座中学高等学校の校舎、体育館、大学新座キャンパスのプール、野球グランド等の計画がある旨、また、関東圏以外の学生を増やすために、自由の学府奨学金を設立し、年間250人、一人当たり50万円、125百万を用意すること等から、財源である未来計画へのさらなるご協力お願いを含めてご挨拶を頂きました。

その後、来賓の方々のご紹介を司会者よりさせていただき、さらに、年初の名刺交換会以降に入会された4名の新入会員の紹介と記念撮影を行った後、小出康之校友会副会長より乾杯のご発声を頂き懇親会がスタートしました。

松本楼の美味しい食事とお酒に加えて、久しぶりにお顔を拝見した同友、先輩、後輩等様々なつながりに会場各所で大いに話が盛り上がり、情報交換に華が咲いておりました。

中締めの前に、ご来賓でもある立教新座中学高等学校の渡邊校長、原生徒部長より新座中学高等学校が新校舎、体育館建設を進めていること等をご報告いただいた後、S35年卒谷田権先輩より中締めのお言葉を頂き、S40年卒山下氏による恒例のエールで閉会となりました。

―品川 高穂　H8経―

2013年度第１回理事会

去る5月15日、新橋亭において2013年度の第1回理事会を開催致しました。

当日は、5月30日に開催する第32回総会の内容ついて審議され、2012年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）、2013年度役員一部変更（案）、2013年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）が承認されました。和田会長からは、プロゴルファーの青木功さんとラウンンドし、そのストイックな姿勢に感銘を受けたお話から、シニアの我々がこれからも経済を牽引していくパワーを持ち、景況感が改善されている今、立教経済人クラブの活動も益々活発にしていきたいというお言葉がありました。

続く懇親会では新橋亭の素晴らしいお料理に舌鼓を打ちつつ、会長以下出席して下さった顧問、副会長、理事、委員長の皆さんで、総会・懇親会の議事進行の確認、会員数500名を目指しての意気込み、などが話し合われ、さらに近況報告などについてお言葉を戴きました。

当日ご出席頂いた方々は以下の通りです。（敬称略）
（会長）和田成史、
（顧問）長谷川正二郎、鈴木紀子、田村憲郎、倉石昇、井上雅由　谷田権、吉見善夫、中島一彰、呉東冨
（副会長）上原洋一、伊藤守、梅田憲司、戸井田和彦
（理事）中島淑夫、富澤麻利子、戸張則博、加藤睦夫、中島弘人、藤田聡、大屋高志
（事務局長）井口一世、
（委員長）昆凡子、徳澄範光、山田晴久、長倉一裕、安東隆司、林雄太、湯浅修
（新任委員長）田中克哉
以上30名

―湯浅　修　S59産―

第3号議案　2013年度 役員一部変更（案）

会長	和田成史	50	営	（株）オービックビジネスコンサルタント	代表取締役社長
副会長	上原洋一	46	院経	上原ネームプレート工業（株）	代表取締役社長
〃	伊藤　守	49	観	（株）毎日コムネット	代表取締役社長
〃	梅田憲司	50	経	三重建材（株）	代表取締役社長
〃	戸井田和彦	50	営	（株）ファルテック	代表取締役社長
最高顧問	玉塚和男	26	経	みずほ証券旧友会	会員
〃	坪野谷雅之	40	経	立教大学	立教セカンドステージ大学兼任講師
特別顧問	保坂三蔵	34	法	自民党東京都連	会長代行
〃	田谷禎三	42	産	立教大学経営学部	特任教授
顧問	長谷川正二郎	25	営	損保マチュリティ懇話会	副会長
〃	小坂哲瑯	29	営	（有）日比谷松本楼	代表取締役社長
〃	出光謙介	29	経	（社）日・豪・ニュージーランド協会	理事
〃	松﨑昭雄	30	経		
〃	村山好弘	32	経	（株）スパンクリートコーポレーション	名誉会長
〃	鈴木紀子	32	経	（株）三鷹婦人会館	代表取締役
〃	田村憲郎	32	経		
〃	倉石　昇	33	経	（株）万葉軒	役員
〃	井上雅由	34	経	トゥイックスジャパン（株）	代表取締役社長
〃	瓦林聖児	34	営	（社）スエーデン社会研究所	理事長
〃	谷田　権	35	経	（株）ケン・ファイナンス	代表取締役
〃	吉見善夫	35	経	ヨシミ税務会計事務所	所長・税理士
〃	松井幹雄	36	英	（株）ホテルオークラ	
〃	中島一彰	41	営	（株）インベストメントインターナショナル	代表取締役
〃	呉　東富	41	営	（株）新橋亭	取締役会長
〃	青木弘光	41	化	（株）青木メタル	代表取締役社長
〃	香取信三	41	営	（株）キノエネインターナショナル	代表取締役
法制顧問	木澤克之	49	法	木澤法律事務所	弁護士
〃	花岡光生	53	法	花岡法律事務所	弁護士
監査委員長	北岡修一	55	営	東京メトロポリタン税理士法人	統括代表社員
監査委員	岩田　護	56	営	岩田護税理士事務所	所長・税理士
理事	中島淑夫	43	営		
〃	鶴見和雄	44	経	公益財団法人　プラン・ジャパン	専務理事
〃	志賀公夫	49	法	志賀工業（株）	代表取締役社長
〃	富澤麻利子	49	教	（株）ラ・ジャッカ	代表取締役
〃	村川和夫	51	法	三和体育製販（株）	代表取締役
〃	平山裕嗣	53	営	ヤヨイ広告企画（株）	代表取締役
〃	戸張則博	54	営	（株）ヴァーネットコーポレーション	代表取締役
〃	杉本隆洋	55	営	（株）アズジェント	代表取締役社長
〃	山口　登	54	経	（株）山口国際税務会計	C.E.O.税理士
〃	加藤睦夫	54	社	（株）ホロスプランニング	ファイナンシャルプランナー
〃	中島弘人	54	経	（株）東海リライアンス	代表取締役社長
〃	藤田　聰	62	営	（株）企業変革創造	代表取締役社長
〃	大屋高志	63	化	フィールズ（株）	代表取締役社長
事務局長	井口一世	53	営	（株）井口一世	代表取締役
総務委員長	湯浅　修	59	産	（株）ブレーン	代表取締役社長
財務委員長	守屋裕之	60	営	ソニー生命保険（株）	部長、トップ・オブ・ザ・エグゼクティブライフプランナー
研修委員長	田中克哉	H2	法	日本オラクル（株）	FusionMiddleware事業統括本部・担当ディレクター（新任）
会報委員長	徳澄範光	62	数	ブレーン・アシスト（株）	代表取締役
スポーツ委員長	長倉一裕	59	法	（株）こだま	代表取締役
拡大委員長	昆　凡子	54	仏	（株）シムコス	会長
活性化委員長	山田晴久	56	法	（株）山田紙器	代表取締役
産学連携委員長	上小牧政章	H14	院ビ	（有）グレコ	代表取締役
対外交流委員長	安東隆司	H1	社	ソシエテ　ジェネラル信託銀行（株）	プライベートバンキングディレクター

ウエルカムナイト

2013年6月19日水曜日18：30より、ホテルオークラ本館11階スターライトの個室にて、「ウエルカムナイト」を実施いたしました。「ウエルカムナイト」は、前年度まで、タウンクラブとして会員相互の親睦の場としておりましたものを、今年度から新たな試みとして、「新入会員を会のメンバーが暖かく迎える」という趣旨のお集まりにいたしました。当日は、大きな会場とは違い、皆さん顔と顔がわかる範囲の個室で、新入会員と既存のメンバー、そして同時期に入会した新入会員同士が、和気藹々親交を深めました。

まず、参加者最長老の山元大先輩による乾杯のご発声の後、オークラホテルのご好意もあり、グレードアップされたおいしい中華料理と飲み放題のお飲み物で、会場は、大いに盛り上がりました。途中で、親友会員の皆様のご挨拶や、運営委員会メンバーのご紹介も交え、経済人クラブ入会後のファーストステップとして役に立つ食事会となりました。。

―昆　凡子　S54仏―

総会　講演会

『グローバル時代のリーダーシップ』

株式会社ファルテック　代表取締役社長･CEO　戸井田和彦氏（昭50･営）

総会に続き、第二部となる講演会が開催されました。株式会社ファルテック代表取締役社長･CEO戸井田和彦様にお越し頂き、「グローバル時代のリーダーシップ」と題し、グローバル企業の改革についてご講演を頂きました。グローバル企業に限らず、多くの経営者、管理職等の方々にとって大変有意義なお話を頂戴する事ができました。

■大企業に欠けているもの

1. 収益志向の不足
2. 顧客志向の不足と同業他社の動向に過度にとらわれている。
3. クロス･ファンクショナル志向の欠如⇒部門、地域の横断的機能と階層を乗り越える業務の不足
4. 危機感の欠如
   ACCOUNTABILITY（結果責任）
5. ビジョンや共通の長期戦略が共有されていない

■トップマネジメントの責任

1. 組織全体が共有する明確なビジョンの設定
2. 優先順位を決める
3. 実行力を上げる
   ･行動計画に基づいたターゲット（努力目標）とコミットメント（必達目標）
4. 透明性⇒コミュニケーション（わかりやすく共有化）
5. 全体的な実績主義のマネジメント⇒公正な評価と処遇

■グローバル時代のリーダーシップ

1．組織全体が共有するビジョンを掲げ、戦略をたてる
   ･目指したい姿、ありたい姿
   ･ビジョンに向かう強い意志
   ･ビジョンを実現するための戦略をたてる

2. 明確な目標設定（ストレッチ）
   ･高いレベルの目標を設定する
   ･積み上げた目標は「見通し」という
   ･数値化する
   ･定量化する

◎目標とは
現状維持の方策は後退を意味し、ストレッチした目標にチャレンジして現状維持が保証される
   ･数字で示されて初めて具体的な行動力が伴う
   ･数値化する･定量化するというのは、経営の基本
   ･数値化できる計画･目標は実行できるとイコール
   ･数字を立てることによって、曖昧でない具体的な行動に移すことができる
必要以上に綿密な計画を立てたり、不慮の事態への恐怖心が過ぎると結果的に抑えめ（控えめ）なゴールしか設定できなくなる。
これでは会社のもつ潜在能力が限界まで発揮されないまま終わってしまう。

3. ビジョン、目標、戦略を全員に徹底する
   ･カスケード
   直接対話（タウンミーティング、ディーラー･工場訪問･ランチョンミーティング）
   ･社員サーベイ
   ･見える化

4. 優先順位を決める
   ･「すべてを追えばすべてを失う」
   ･優先順位のベースとなるのはビジョン
   ･リスクマネジメント、BCP
   ⇒優先順位の決め方
「重要度」と「緊張度」のマトリックス
◎優先順位が正しく守られるために
   ･プランニングを中央集権化すること
   ･実施に際しての明確な責任系統の確立

5. 実行力をあげる
   ･計画の策定は取り組みの5%に過ぎない
   ･経営における迅速さは決定の迅速さではない
   問題を発見してから、その問題が実質的に解決されるまでの速さ
◎実行
計画の策定は、取組の5%に過ぎず、残りの95%は、実行と明確な成果にかかっている。
   ･部門、チーム、個人単位の戦術、目標に具体的に落としこまれている
   ･リーダーとしての率先垂範　「部下に変化を求めるなら自ら変化せよ」

6. EMPATHY共感力
   ･国際的リーダーに必要な資質は共感力です。
   理性を超えて他社とつながれる力。
   相手への理解、直観力です。
   こうした特性は、経験を重ねて体得するもの。
◎国際的に活躍する人の共通点
国際的に活躍する人には、共通する特性があります。その最たるものは、自分と違うものに対して興味を持ち、敬意を払える姿勢です。
◎強固なアライアンスの秘訣
   ①両者の経営陣が互いに尊重しあうこと
   ②Win Winの状況を作り出す姿勢を両者が持つこと
   ③意思決定の自主性を尊重しあうこと

7. DIVERSITY　多様性
   ･個々の「違い」を受け入れ、認め活かしていくこと
   ･同質の者同士で群れない
   ･その違いを理解しようとする姿勢、謙虚さ

8. 変化に対する感度
   ･大きな変化、状況を掴む力
   ･仕掛けのタイミングを読む力
   ･全体の状況を把握し、対策の規模、期間、効果を見極めること

―神津 港人　H4営―

2012年度サマーインターンシップ実施報告（3）

経済学部では、授業「インターンシップ」を開講しております。夏休みを利用してのインターンの受け入れは2005年以降、今年度で7年目となりました。今年度も多くの企業様に受け入れていただきました。
そこで、今号では前号に引き続き、産学連携委員長の上小牧政章氏（H17院ビ）が各企業様に行っていただきましたインタビューと派遣された学生へのアンケートを掲載させていただきます。

大和小田急建設（株）様

●ご担当の総務人事部長柴田昭良様と総務人事部人事厚生担当山下由衣様へのインタビュー

―インターンシップは何時からですか？

立教大学からの受け入れは、今回が初めてです。

―きっかけは？

私どもの社長である金久保が立教のOBで、経済人クラブの会員であり、インターンシップという制度があるがどうだ？ということを言われ、是非受け入れてみようということで参加しました。

―学生にはどのような業務を依頼しましたか？

始めは、大和小田急建設の歴史や建設業界とはどういうものなのかを学んで頂きました。そして、電話応対（2コール以内に出ること）や名刺整理・書類作成・打ち合わせ・会議に同席をしたり、大規模修繕現場やマンション建設現場の見学、経理伝票の作成など多岐にわたる業務を2週間して頂きましたので、建設会社というものはどういう会社なのかは理解して頂いたかと思います。

―かなりシステム化されているような印象を受けたのですが、プログラムなどがあるのでしょうか？

毎年学生を受け入れているので、各部署もそれぞれ何をすれば良いのかを理解しているようです。

―感想は？

一日単位で部署が変わるのですが、どこの部署に行っても溶け込むのが早く、驚いています。そして、現場が学生に業務の説明をした時に素直に聞きますし、またわからないことも素朴に聞いてくるので、普段気づかないことに対する気づきということがあります。
同時期に他大学の方も受け入れていたのですが、その方とも情報交換などをしていたようです。そして、年齢層の幅広い社会人の飲み会も体験し、そこでは仕事上では見えない一人一人の人間性、そして人とのつながりなどを見て頂けたのかなと思います。

―かなりの学生を受け入れているのですか？

今年は事務系5名、技術系2名計7名です。大和小田急建設という会社を学生一人一人に知ってもらい、大学に戻った時にもこのような会社があったよと宣伝もしてもらえる良い機会なので積極的に受け入れています。

―最後にひとこと？

本当に良い人が来てくれました。また来年も是非宜しくお願いします。

●派遣された経済政策学科3年 鈴木美緒さんのアンケート

①インターンシップ実習前の印象や期待など

挨拶にうかがった時、「実習中やりたいことはありますか？」と聞かれ、とっさに「電話対応がやりたいです！」と答えました。会社の電話に出るのは初めての経験だったので、きちんと受け答えができるかとても不安でした。また、建設会社は理系が多く、女性は少数派というイメージがありました。しかし、事務系は文系出身者が多く、女性の方も活躍されていました。

②インターンシップ実習後の感想

今回のインターンシップを通して、職業観が大きく変わりました。実習先で、女性が活躍されているのを見ると、私も将来結婚や出産を理由に仕事を辞めたくないと思うようになりました。また、建設会社はマンション改修やインフラ整備など人々の暮らしと密接にかかわることができます。実績が形として残るのでとてもやりがいのある仕事です。２週間という短い間でしたが、毎日が新鮮でとても充実していました。実習中学んだことを、今後の学生生活や将来の糧にしていきたいです。

③今後インターンシップを受講しようとする学生、あるいは受け入れ先企業へ一言

これだけ社員さんとの距離が近いインターンシップは他では経験できません。そのため、与えられた機会を大切にし、積極的に学ぶ姿勢が大切だと思いました。

日本ビー・エヌ・アイ（株）様

●ご担当のNational Director大野真徳様へのインタビュー

―インターンシップは何時からですか？

昨年からです。

―きっかけは？

OBとして貢献したいという気持ちがありました。そして、受け入れることにより、社内に刺激を与えるということがありました。例えば学生と共に仕事をすることにより、そのころの自分を思い出して、お互いに相乗効果があるのではと、実際去年、今年と実施しましたが狙い通りだったのではと思います。今後もチャンスがあれば継続して受け入れてみたいと思っています。

―学生にはどのような業務を依頼しましたか？

当社は大手ではないので、部署単位ではなく個人で行っている仕事が違うこともあり、それぞれの仕事を見てもらったり、手伝ってもらったりということです。具体的には会員様向けのマニュアルの用紙をバインダーに挟み込むような作業、当社は経営者の方が朝集まることが多いので、その会が開催されているところに一緒に行っていただき、実際に経営者の方に顔を合わせてもらったり、受付から全体の流れを見てもらったり、参加してもらったりということです。
就職活動においても大手に目が行きがちだと思いますが、私どもの会員様はどちらかというと中小企業の経営者が殆どですので、結果的に大手に就職したとしても中小企業の経営者と接する機会があったということは良い財産になると思います。

―感想は？

最後の食事で言われた感想ですが、朝の会だとかワクワクする様な面を見てそのままのイメージを持ったようですが、でも裏方では色々な資料を始め、物を段ボールに詰めたりする作業をし、これで一つの事業が成り立っているのだと言われていました。

―最後に御社のPRを？

Givers Gain（与える者は与えられる）という言葉があります。その言葉が私どもの理念です。目の前の人に対してどう貢献出来るか、実践していく会社です。私どもの研修「トレーニング」で学びながら実践していく。ある意味新しいマーケティング「集客・売上の貢献」という考え方があることを知っていただきたい。この考え方は、ビジネスだけではなく、プライベートでも色々な場面で役に立つかと思います。

●派遣された経済学科2年 豊島彬さんのアンケート

①インターンシップ実習前の印象や期待など

仕事に対して漠然とした不安がありましたが今の自分には何ができて、何が足りないのかを知る機会になるという期待を持ってインターンに臨みました。

②インターンシップ実習後の感想

社員の皆さんが多くの仕事を抱える中、常に優先順位をつけて仕事をこなしている様子を見てこれが今の自分に足りないものだと感じました。ただ特別なことではないので意識すれば自分にもできることだと感じ、社会に出ることに対する不安が少し軽減しました。

③今後インターンシップを受講しようとする学生、あるいは受け入れ先企業へ一言

社会に出ることへの不安を持っている学生はインターンを経験することで今の自分に足りないものを知ることができるいい機会になるし、社員さんなどからいろいろな話を聞くことでいろいろなことを考えるきっかけになると思うのでぜひチャレンジしてみてください。

―吉原 伸隆　H4営―

世界経済フォーラム(ダボス会議)東アジア会議に出席

玉子屋 代表取締役社長
菅原勇一郎氏(H4経営)にインタビュー

菅原 勇一郎(すがはら ゆういちろう) H4経営学科卒。
株式会社玉子屋代表取締役社長。

1日60,000食を昼前に宅配し、午後弁当箱を回収する宅配弁当事業などを展開。
黄色い玉子屋のロゴの入った白いバンは、都心のオフィス街でよく見る光景である。
その独自のノウハウにより、廃棄率がわずか0.1%しかないエコ企業でもある。
テレビ東京「カンブリア宮殿」出演などテレビ、雑誌の取材多数。
そのユニークな経営は、ハーバード・ビジネスレビューなどにも取り上げられている。
2013/1/7　日経ビジネス　【特集】「異色企業家だけに聞いた2013年の大胆予想」に取り上げられた10名の経営者のひとりでもある。

―世界経済フォーラム、東アジア会議に出席されたとお聞きしました

ミャンマーの首都ネピドーで開催された、ダボス東アジア会議に出席してきました。

―ダボス会議とはどんな会議なのでしょう?

スイスのダボスで年1回開催されている、世界経済フォーラム年次会議です。一説には、参加者の経営会社の規模が年商5,000億円以上、新興企業でも年商250億円以上と聞いた事があります。

―今回参加された東アジア会議とは?

ダボス会議は年1回ですが、東アジアや、アフリカでの情報交換を目的とした、いわば分科会的な位置付けと思います。ユニークな経営を行う次世代経営者を招いてはどうか、との提案により、東アジア会議で新しい試みを行う事になったと聞いています。
今回は約60カ国から、約1,000名の経営者等が参加していました。

―世界的に著名な会議に出席されたきっかけは?

当社は以前から、NHKや、TV東京などのビジネス番組で取り上げて頂きました。その番組で知り合った、世界経済フォーラム日本オフィスの関係者から、この東アジア会議に出席してはと推薦を頂きました。

―羨ましいですね。出席希望される方も多いでしょう?

日本オフィス関係者からは、「推薦してもダボス会議本部の審査があるので、期待に沿えない事もある」と言われました。日本の関係者は『世界に紹介したい日本の中小企業』がある、という事で、年商規模には届かないものの当社を推薦して下さったと聞いています。

―どのようなスケジュール、場所でしたか?

2013年6月5日から7日まで場所はネピドーで開催されました。政権交代により、ミャンマーの首都はもはや、ヤンゴンではなくネピドーです。そこはヤンゴンから車で6時間の、ほとんど未開発地域でした。
コンベンションセンターは立派なのですが、レストランはわずか14軒しかありません。クレジットカードの決済をリアルタイムでは行う事が出来ず、事前に宿泊代金などをカード決済してから現地入りしました。
ミャンマーは"アジア最後のフロンティア" と呼ばれており、人口は6,000万人程でしょうか。人口の40%が24歳以下と若い国家です。

―困った事はありましたか

原則、秘書の会議出席がNGと聞いているので、英語での会話を自力で行なわなければなりません。身振り手振りとエネルギーでコミュニケーションをはかりましたが、伝わったのかどうか。語学が堪能である人を羨ましく思います。

―参加者の方々はどのような方々で?

マレーシア、インドネシア、フィリピンの大統領も参加されていました。各国の経営者、商工会議所、学術研究家や商社など、人脈の宝庫でした。名刺が周りで飛び交っていましたね。参加者名簿にあるメールアドレスに、「セッションの合間に商談したいが、都合はどうか?」といった内容をタブレット端末などで連絡しているケースを見かけました。

―印象に残ったプログラムは?

アウンサンスーチー女史のスピーチは大変印象に残りました。その模様は英国BBCで中継されたようです。自分の考えた内容を、自分の言葉で語っていた印象を受けました。感じた事柄をキーワードにするならば「眼力」「自分の意思」「オーラ」「エネルギッシュ」でしたね。
他のプログラムでは、我が社の業種柄「食糧」のセミナーにも参加しました。

(写真は東京でのフォーラム)

―印象に残るエピソードを

弁当(BENTO)は世界共通語だという事ですかね。Made in Japanの安心感や、日本の食品への信頼度は高く、宅配で60,000食、廃棄率がわずか0.1%未満という当社の実績を驚異に感じて貰ったようです。是非とも我が国でも事業展開してほしいという要望を頂戴しました。とはいえ、今のところ事業展開はまだ考えておりませんが。

―刺激を受けましたね

次世代の経営者である、"Young Global Leaders"、世界では20代、30代の起業家意識の高い人々が大勢いる事を実感しました。私は44歳で若いつもりでいましたが、更に若い世代との交流が今後必要だなと感じましたね。経済人クラブでそんな企画をやって欲しいと思います。

―最後に一言

「海外に出て行く可能性は、ゼロでは無い」

〈インタビューを終えて〉
いつもエネルギッシュな菅原社長が、若くてエネルギッシュなギラギラした世界の人々に大きな刺激を受けた様子でした。某新興生命保険会社のベテランが、若くて才能ある、パートナーと組んで事業を拡大した事例が思い起こされました。立教経済人である菅原社長の今後の更なる活躍を仲間として期待しております。

―安東 隆司　H1社―

経済学部教育の新たな視点

――キャリア教育と英語利用教育――

池上 岳彦（経済政策学科教授）

経済学部は，いまキャリア教育と英語利用教育の強化に取り組んでいます。

とくにキャリア教育については，経済人クラブ会員企業の皆様の多大なご協力をいただいて「インターンシップ」を授業科目として実施しています。それに加えて，本学部は私が学部長を務めていた昨年7月，キャリア教育運営委員会を設置し，学部キャリア・サポーターを配置して以来，取り組みを大幅に拡充しています。昨年11月「課題解決チャレンジ講座」を実施したのをはじめ，今年3月には「グローバルキャリア教育プロジェクトin台湾」（主催：本学部を含む6大学。後援：経済産業省）に学生4名を派遣し，“SUPER GIRLS FESTA”(主催：吉本興業株式会社) にブース出店して自分たちが企画した商品を販売する活動を行いました。このイベントは，グローバルプロジェクトの企画・参加，学生の成長，学部広報など，多くの面で成功を収めました。また，学生の台湾派遣にあたり，経済人クラブ会員から以前寄せられていた寄附金を活用させていただきました。あらためて，あつく御礼申し上げます。

さて，今年度に入り，4月には新入生に対する「スタディサポートプログラム」を実施しました。これは新入生を100人前後に分けた教室で，上級生スタッフがリーダーなってグループワークを行わせる2時間プログラムです。新入生・上級生スタッフのいずれにも評判が極めて良く，初年次教育への接続という面でも好評です。また夏休みには，企業を訪れてワークに取り組む「サマーチャレンジワークショップ2013」を開催します。そして後期は，十数社の企業にご協力いただく形で「キャリアゼミ」「キャリア科目＜産業の多様性や関係性を理解する産学連携ケーススタディ＞」という新たな授業科目を開講します。

つぎに，英語を利用した経済学教育について紹介します。本学部は，経済学文献を英語で読む伝統的科目である「外書講読（英）」に加えて，カナダへ渡航し，英語力・ビジネスプレゼンテーション演習，経済学・経営学授業聴講・企業見学等を組み合わせて，英語ディスカッション力，北米経済に関する知識及び異文化コミュニケーションの実践能力を養う「海外経済文化研究」を，アルバータ大学と提携する形で実施してきました。2011年度からは，これらに加えて，実際的なテーマを題材とする英語のリーディング，ライティング，リスニング，ディスカッション等の力をつける「時事経済英語」「ビジネス英語」「ビジネスパーソンの英語」などの科目を開講し，英語利用教育の体系的構築に努めています。

このように，本学部は学問的見地に加えて学生・社会のニーズにも応じて教育に新たな視点を取り入れて進化しています。なお，キャリア教育と英語利用教育を組み合わせたプログラムについても検討を進めており，来年度へ向けて教育のさらなる充実をはかっていきます。

経済人クラブの皆様には，今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

池上岳彦氏プロフィール
1959年，宮城県生まれ。
1999年より経済学部教授。
2011年から2013年まで経済学部長。専攻は財政学。著書に『分権化と地方財政』（岩波書店），『地方交付税・何が問題か』（共編著。東洋経済新報社），『租税の財政社会学』（共編著。税務経理協会）等がある。

―品川 高穂　H8経―

連載

グローバルリーダーへの道（第３回）

グローバル人材の変遷

今回はグローバル人材を時代の流れを踏まえ、私なりに整理したいと思います。

グローバル人材1.0（1970年代まで）とは、語学力のある方が評価されていた時代です。外資系の社長にヘッドハンティングされた人でも、仕事屋というよりも英語屋としての採用だった古き良き時代と言えます。この時代、日本は国際化が進んだ時代で、まだまだ英語ができる人も少なかった時代です。

次に、グローバル人材2.0（1980年代～ 2000年代まで）は仕事力があり且つ語学力もあるという人材です。しかしながら、海外赴任された先では日本にいたときのようなパフォーマンスを出すことができない人も多く存在しました。

中にはメンタル不全に陥り、最悪の場合、うつ病から自殺にまで追い込まれるケースがあります。外務省の統計によると、死亡における自殺の比率は国内よりも海外の方が約4倍高いというデータがあるくらいです。

さて、現在はグローバル人材3.0（2010年代～）の時代、成果を出すグローバル人材が求められています。それには、2.0の仕事力と語学力に加え、環境適応力が必須となります。

この環境適応力とは、向き・不向きという性格タイプの観点がベースとなります。性格的に向いているかどうかという視点も選抜する際には効果的です。

次に、人種（宗教観や仕事観等）の違いをきちんと受け入れ、うまくその環境に適応できるかが求められます。こちらでは当たり前のことが海外では当たり前では無くなってしまうものです。

そして、コミュニケーションを取るためには語学力が求められます。こちらは毎日コツコツと慣れ親しむことでしょう。日本にいる場合、スキルアップのためには環境を作ることが大切です。嘗てのような英会話学校に通うという選択肢だけでなく、非常に安価なサービスも生まれてきています。例えば、フィリピン人の講師によるオンライン英会話サービスなど、浸透しつつあります。

いずれにせよ、自己を律して、継続することこそが語学力向上の近道と言えましょう。

グローバル人材1.0（1970年代まで）
語学力で選抜

グローバル人材2.0（1980年代～2000年代まで）
仕事力+語学力で選抜

グローバル人材3.0（2010年代～）
仕事力+語学力+環境適応力で選抜

―藤田　聰　S62営―

ご質問・ご意見・ご感想があれば、
fujita@v-change.co.jpまで。
蛇足ですが、弊社の中小・ベンチャー企業向け社員力向上支援サービス「人財開発研究所」が先日、日経産業新聞のトップ面で取り上げられました。「中小企業の組織活性化から日本を元気に!」で邁進しております。

ご関心があれば、下記まで。
www.v-change.co.jp/jinzai_kaihatsu

立教経済人クラブ　委員会より

総務委員会

　総務委員会が担当する主な事業は、定期総会と新春名刺交換会、そして会員名簿の作成です。
　定期総会と新春名刺交換会では、出席された方々に、立教らしい肩肘張らない楽しい雰囲気を演出していく中で、会員相互の親睦を深めていただきたいと願っております。
　今期は会員数の大幅増が見込まれます。懇親会では会員だけでなく、大学・学院側との交流も、われわれ総務委員や他各委員が、積極的に新入会員のご紹介などの橋渡し役を努めてまいりたいと思っております。
　また会員名簿の作成については、その製作費用のすべてが皆さまの広告掲載料で賄われております。今期はページ数の増加も予想されますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。
　現在、総務委員会では人員が足りておりません。委員会の活動に少しでもご興味がございましたら、是非事務局にご連絡いただき、運営委員会に遊びにいらっしゃってください。昨今女性の登用があちこちで叫ばれております。
　総務委員会も大歓迎です。

―湯浅　修　S59産―

スポーツ委員会

　年2回、夏場と冬場にゴルフコンペを開催しております。
　夏の会は7月の後半で梅雨明けの頃になります。かなり暑い時期なので、熱中症予防も大切です。
　ここ数年は東京ゴルフ倶楽部で開催させて頂いております。しかも、価格をかなり割り引きしていただいていますので、とてもお得に名門コースをプレイ出来て嬉しいかぎりです。
　冬の会は経済人クラブの会員の方に様々なコースをご紹介頂き、毎回違う場所になっております。
　例えばレイクウッドゴルフクラブ、茂原カントリークラブ、よみうりゴルフ倶楽部 などです
　これからも皆様にご協力頂き、様々なコースにご案内したいと思います。

―長倉 一裕　S59法―

活性化委員会

1）活性化のため、今年はプラスワンの新たな試みをしてゆきたいと思います。
　プラスワンとは何か？お楽しみに。

2）委員会が実質1名で運営しているので副委員長を2名を指名して進めるようにします。

―山田 晴久　S56法―

会報委員会

　経済人クラブ会員の、経済活動の触媒になるような会報作りを目指しております。
　会員に是非とも知らせたい小耳ネタや、新規事業・イベントＰＲなど、掲載は当委員会の判断とさせて頂きますが、積極的にお寄せ頂けると幸いです。

　投稿先（事務局）：keizaijin@grp.rikkyo.ne.jp

―徳澄 範光　S62数―

産学連携委員会

　対昨年度から産学連携委員長を務めています。上小牧　政章です。インターンシップで大学側の窓口となっている。経済学部の池田教授を初め、須永教授、そして、郭教授と運営委員のメンバーで、会食をする機会が御座いました。大学の授業では決して見せないであろう各教授の会話術？と幅広い見識？でビジネスマンの我々が圧倒されてしまいました。初対面でも飾らずに、開けっ広げで本音で話せる、立教の教授の方たちに、立教らしさのルーツを発見したように思えました。また、8月からインターンシップが始まります。学生を受け入れて下さる、各企業の担当の方達。そして、授業で学生の意見・希望を取りまとめて頂いている教授の方達。そして、事務局の方。本当はご訪問し、直接お礼を申し上げなければいけませんが、ご無礼をお許し下さい。そして、この紙面をお借りして、お礼を申しあげます。本当に有難うございました。

―上小牧政章　H17院ビ―

拡大委員会

　拡大委員会は、会員の拡大と、新入会員が早くクラブに溶け込めるようなお手伝い、そして、顔と顔がわかる程度の小規模な親睦会の運営、この三つのテーマを中心に活動しております。会員拡大といたしましては、まず第一に会員各位のご紹介を大事にしておりますので、皆様のお友達、お近くにいらっしゃる方々のご紹介をぜひよろしくお願いいたします。新入会員が経済人クラブに早く溶け込めるようなお手伝いとしましては、年に2回「ウエルカムナイト」を開催しております。6月19日に、新入会員を、クラブのメンバー、運営委員会のメンバーが暖かく迎えて、和気藹々と楽しい会をオテルオークラで行いました。第二回目は、2013年11月20日を予定しております。顔と顔がわかる範囲の小規模な懇親会といたしましては、年二回「グルメ会」を開催しております。「グルメ会」は、隠れた名店やおいしいお店を会員からご紹介いただき、皆でテーブルを囲んで、楽しく懇親するお集まりです。ご家族やご友人と同伴で参加していただけますので、これから経済人クラブに入ろうかと思っているお友達をご同伴いただいてクラブの雰囲気をご理解いただく場としても活用していただければと思っております。「グルメ会」は、2013年9月25日と2014年3月19日を予定しております。皆様振るってご参加ください。

―昆　凡子　S54仏―

対外交流委員会

　対外交流委員会では、立教経済人クラブのみならず、立教他団体や他大学の経済人/プロフェッショナルとの交流、親睦を図る目的で活動を行っております。
　毎年9月に「経済人交流ゴルフ」と題してゴルフコンペを開催しております。上場企業/店頭公開企業を含む、立教大学を代表する経営者の方々をホスト役に、他大学の経済人をお迎えし「交流と親睦」を目的としたイベントも今年で3回目を迎えます。
　過去2回のコンペでは、東京大学、京都大学、慶應大学、学習院などのOBをはじめとした、経済人の方々との集いを東京ゴルフ倶楽部、よみうりゴルフ倶楽部という名門ゴルフクラブにて行って参りました。またゴルフ後の懇親会では参加者を中心に、沢山の賞品のご提供を賜り毎回大いに盛り上がっております。
　いずれは、他大学/他団体のエグゼクティブを招き勉強会や懇親会を開催出来たらと、対外交流委員会として大きな野望を持っております。
　今後とも皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

―安東 隆司　H1社―

研修委員会

"The early bird catches the worm"
　本年より研修委員長を務めます田中克哉です。研修委員会では年に2回行われる朝食勉強会を実施しております。
　この勉強会では皆様のビジネス活動にお役にたてるようなテーマで各界の著名な方にご講演いただいております。
　朝早く空いている電車に乗り、おいしい朝食を食べ、素晴らしい講演を聞き、そして充実した一日を過ごしていただくのはもちろん、皆様の一流のビジネスにさらに+αのエッセンスを加えていただくことを目標にしておりますので、皆様奮ってご参加ください。

―田中 克哉　H2法―

グルメ会

　平成25年3月21日、パレスホテル東京　1F　グランドキッチンにてグルメ会が開催されました。
　皇居のお堀に面した個室が今回の会場です。高い天井、大きな窓越しにテラス席、その向こうには皇居の早春の緑が見えて、とても素敵なレストランです。
　料理は特別にシェフがオリジナルコースを提供してくれました。フレンチをベースにした創作料理で、イタリアン、少し和の要素もあるバラエティーに富んだものでした。
　今回はディナーでしたので景色があまりよく見えずに残念でした。今度、明るい時間に是非、テラス席に行きたいと思います。
　ランチならお値頃ですし(^q^)v

―長倉 一裕　S59法―

新しく会員になられた方々

（敬称略）

青木　誠路
平成11（1999）経

（株）AOKIホールディングス
常務取締役
224-8688 横浜市都筑区葛が谷6-56
TEL：045-942-9988
FAX：045-948-1487
小売業

大庭　忠良
昭和49(1974)社

リコージャパン（株）
全国民間事業統括
104-8222 中央区銀座8-13-1リコービル
TEL：03-6278-3043
FAX：03-6673-4309
E-Mail：tadayoshi_ohba@ricoh-japan.co.jp
業種：精密機器

島崎　敬一
昭和59(1984)営

（学）資生堂学園資生堂美容技術専門学校
学務部長
173-0003 板橋区加賀2-15-1
TEL：03-3962-2561
FAX：03-3579-5426
E-Mail：keiichi.shimazaki@to.shiseido.co.jp
専門学校

髙山　幸治
平成13(2001)経

（株）ゴルフ・ドゥ
代表取締役社長
338-01 さいたま市中央区上落合2-3-1
TEL：048-851-3111
FAX：048-851-3456
E-Mail：t-ito@golfdo.com
URL：http://www.golfdo.jp/
業種：ゴルフ用品の小売・卸売

千葉　喜章
平成1（1989）経

（株）三越伊勢丹ホールディングス
管理本部業務部業務企画担当マネージャー
160-0022 新宿区新宿5-16-10
TEL：03-5843-6044
FAX：03-5843-6050

戸木　貞晴
昭和59(1984)営

日本ユニシス（株）
総合技術研究所上席研究員シニアシステムアナリスト
135-0061　江東区豊洲1-1-1
E-Mail：masaharu.toki@unisys.co.jp
業種：システムインテグレーター、ソフトウェア

林　勝
平成19(2007)院ビ

アルゴジェーシー（株）
代表取締役
150-0043 渋谷区道玄坂1-15-3-621
プリメーラ道玄坂
TEL：03-6455-0308
FAX：03-6455-0309
業種：情報通信サービス業

矢花　達也
昭和53(1978)営

（株）イグアス
代表取締役社長
144-8721 大田区蒲田5-37-1
ニッセイアロマスクエア15F
TEL：03-5714-5217
FAX：03-5714-5137
E-Mail：t_yabana@jbcc.co.jp
業種：IT製品のディストリビューター

薮崎　公章
昭和59(1984)営

フェローザ
代表
125-0041 葛飾区東金町1-43-10
TEL：03-3608-6123
FAX：03-3608-6125
E-Mail：kimmy@ferozah.com
業種：貴金属・宝石・アクセサリーの輸入、製造、販売

山見　真弘
昭和62(1987)産

東通インテレクト（株）
代表取締役
150-0011 渋谷区東1-13-12コートヒル青山
TEL：03-5778-0977
FAX：03-5778-6844
E-Mail：masa@gcn.co.jp
業種：広告、デザイン、プロモーション、Web

横森　匡弘
昭和60(1985)法

ANAインターコンチネンタルホテル東京
セールス＆マーケティング 営業開発担当部長
107-0052　港区赤坂1-12-33
TEL：070-5076-4749
FAX：03-3505-1190
E-Mail：m.yokomori@ana.co.jp
業種：ホテル

2013年度 事業計画書

開催日	事　業	場所	参加募集
2013年8月	経済学部インターンシップ支援		
2013年9月16日	他団体交流ゴルフ	よみうりGC	（募集）
2013年9月25日	グルメ会	場所未定	（募集）
2013年10月24日	朝食勉強会	ザ・ペニンシュラ東京	（募集）
2013年11月5日	理事会	新橋亭	
2013年11月20日	ウェルカムナイト	場所未定	（募集）
2013年12月8日	第64回ゴルフ会	場所未定	（募集）
2013年12月10日	クリスマスパーティ	場所未定	（募集）
2014年	新春名刺交換会	日比谷松本楼	
2014年3月	朝食勉強会	ザ・ペニンシュラ東京	
2014年3月	グルメ会	場所未定	

Facebookで経済人クラブのグループに参加しよう!
セミナーや新製品の告知、交流の場としてドシドシ投稿して下さい。

立教経済人クラブ ウェブサイト
http://www.r-keizaijin.net
立教経済人クラブでの、過去の行事や活動はウェブサイトでご覧頂けます。

【お詫び　訂正】
会報59号で新会員として紹介された方で、お名前の間違っている方がありましたので、訂正いたします。失礼いたしました。
竹内　浩さんのお名前が、大内浩となっておりました。

編集後記

「1%でもポジティブな可能性があれば、99%ネガティブでなことであってもポジティブに考える。」

先日の全日本体操種目別選手権に出場し、高校生ながら床部門で優勝し、日本男子史上最年少で世界選手権の切符を手に入れた白井健三選手がテレビ番組でのインタビューでこう答えていました。白井選手はとにかくプラス思考で、起こってしまったことは考えても仕方がない。だから常にポジティブに考えるようにしているそうです。

一所懸命にやっているのに、思うように結果が出なくてついついネガティブになりがち…いつもそんなにポジティブではいられない、と思いながらインタビューの続きを見ていたらそこにヒントが!

彼は、目の前のことに全力投球していながらも、見ているのは遥かなた。

「世界で誰もやったことのない技を決めたい」

目標の高さがポジティブな姿勢を支えているのだと、16歳の高校生から忘れかけていた人生の大切なことを学んだ夏の初めでした。

―吉原 伸隆　H4営―